URL https:// kenren.miyagi.coop/

# 県連速報

●発信元
宮城県生活協同組合連合会
●責任者　石川　宣子
●　TEL 022-276-5162
●　FAX 022-276-5160
●　２０２５．０６．１８
第７１７号
（2025 年度：6 号）

## ●宮城県生協連第 56 回通常総会を開催しました。

2025 年 6 月 17 日（火）午前 10 時 30 分よりフォレストホールにて、第 56 回通常総会を開催しました。本人出席 24 人、書面議決書出席 18 人、合計 42 人の代議員が出席しました。

はじめに、冬木勝仁会長理事より挨拶があり、その後、来賓の宮城県農業協同組合中央会の高橋慎常務理事、日本生協連北海道・東北地連の丸谷靖朋事務局長にご臨席・ご挨拶いただきました。

冬木会長理事の挨拶

理事会から、第 1 号議案「2024 年度事業報告承認の件」、第 2 号議案「2024 年度決算関係書類等承認の件」、第 3 号議案「定款の一部変更の件」、第 4 号議案「会費規約の一部変更の件」、第 5 号議案「監事監査規則の一部変更の件」、第 6 号議案「2025 年度役員（理事・監事）報酬決定の件」、第 7 号議案「2025 年度事業計画及び予算決定の件」が提案され、全議案満場一致で承認されました。

来賓の（上から）JA 宮城中央会の高橋慎常務理事、日生協北海道・東北地連の丸谷靖朋事務局長

8 会員生協から 8 人の代議員から以下の発言がありました。みやぎ生協の尾川輝敏代議員から「安心して暮らせる地域社会を目指した、様々な形の体験型イベントの取組と地域に寄り添う店舗作りについて」、生協あいコープみやぎの石井朱里代議員から「生活の基盤となる平和の取組と米の産地・生産者との関わりについて」、松島医療生協の三浦久惠代議員から「コロナ禍以降中止していた健康フェスタを望む声と再開について」、みやぎ県南医療生協の齋藤清代議員から「地域に密着した健康づくりと多様なメニューの考案・実施について」、東北大学生協の鍵野清天代議員から「全国・海外から組合員が集まる大学としての被災地訪問の企画と総代と考える生活支援について」、宮城大学生協の會澤真澄代議員から「組合員の学びと実践の場としての貧困問題・環境問題・食品ロスへの取組について」、宮城労働者共済生協の加藤眞也代議員から「社会貢献活動として子どもの交通事故削減のための取組と被災地復興の植林活動について」、宮城県高齢者医療生協の丹野幸子代議員から「安心して暮らせる地域社会を目指す取組と協同組合間協働について」発言がありました。

総会決議提案の
佐藤久美子代議員

総会決議「『平和で持続可能な社会』『安心して暮らせる地域社会』をめざし、協同の力で取り組みます」が佐藤久美子代議員より提案（別紙）があり、満場の拍手で採択されました。

「国際協同組合年」「被爆・戦後 80 年」となる 2025 年の活動計画を確認する総会となりました。

発言報告者：（左上から）尾川輝敏代議員（みやぎ生協）、石井朱里代議員（生協あいコープみやぎ）、三浦久惠代議員（松島医療生協）、齋藤清代議員（みやぎ県南医療生協）、鍵野清天代議員（東北大学生協）、會澤真澄代議員（宮城大学生協）、加藤眞也代議員（宮城労働者共済生協）、丹野幸子代議員（宮城県高齢者生協）